



シスポート情報提供機関誌

キューインフォ

info

2023年 2月発行

第182号

SINCE 2008.1

このQ-infはお取引先様をはじめシスポートスタッフがいろいろとお世話になっている方、Replyシートで購読のご希望をいたいたい方、シスポートスタッフが最近名刺交換をさせていただいた方などにお送りしております。

ご意見、ご感想や送付の要否などは添付のReplyシートでお聞かせ下さい。

スタッフのつぶやき

皆さま、こんにちは。システム開発部の野崎です。

私、今年は年男でございまして、例年より少し?やる気に満ちている次第です。

今年は元旦早々、夜に二歳の息子が「痛い痛い」と言いながら左腕を気にしだしまして、救急外来を受け付けている病院へかけこみました。恐らく記憶にある中では、私が元旦に病院へ行ったのは初めてな気がします。乳幼児に発生しがちな肘内障と診断を受けましたが、目を離したすきに自分で服を脱いだ後だったので、どのように服を脱いだのか謎が残ります。

私達以外にも何組か救急外来に来られていきましたが、病院は無くてはならない存在と改めて実感しました。怪我や病気もありますが、健康な時ほど健康であることの有り難みに気づかないかもしれません。

私自身、今のところ特に不調な箇所はありませんが、歯や視力は気になりつつあります。最近歯医者に行っていないし、歯のクリーニングも含めて診て頂かなければいけないかもしれません。

さらには、一昨年に10年ぶりぐらいにプログラマとして現職に就いたわけで、視力についてもまた落ちつつある気がします。普段はしていないのですが、そろそろ眼鏡も新調しないといけないのかなと思ったりしています。そもそも持っている眼鏡が学生の時に買った物だし・・・(コンタクトは付けるのが怖くて断固として拒否して、眼鏡一択です)

まだ体の不調が現れていない内に、少しずつ体のメンテナンスをしつつ、普段の年よりやる気を少し上げて1年突っ走って参ります!

(システム開発部 野崎 仁志)

Excel ワンポイントテクニック

【テーブルとしての書式設定】

あたり前なお話ですがExcelって表を作るのにすごく便利ですよね。

Excelに慣れてらっしゃる方が当たり前のように使っているフィルター機能や数式ですが、私のような初心者は機能を一つ一つ調べて試して…とむしろ表作成に時間がかかるてしまうなんてことも。

そんなお悩みをお持ちの方に今回ご紹介するのが『テーブルとして書式設定』機能。

Excelを開き、

- ①表を作成したい範囲を選択。
- ②上部メニューの「ホーム」から『テーブルとして書式設定』をクリック
- ③ズラッとテーブルスタイルが表示されますので、お好きなスタイルを選択 (図①)

ナハウス テーブル ツール テーブル デザイン ? 何をしますか

見出し行 最初の列 フィルター ボタン

集計行 最後の列

編模様 (行) 編模様 (列)

テーブル スタイルのオプション

11
12
13
14 集計
15 なし
平均
個数
数値の個数
最大
最小
合計
標準偏差
標準分散
他の閾数...

すると選択した範囲が一気に見やすくなりました! (図②)

ただこの機能、単純に表を見やすく彩るだけではないんです。

上記手順でテーブルスタイルを選択すると上部メニューに「テーブルデザイン」という項目が増えます。ここをクリックしていただくと…



A B C D E F G

1 判1 判2 判3 判4 判5 判6 判7

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

(図②)

このようにいくつかのチェックボックスが表示されます。(図③)

色々な項目がありますが、今回はこの中から「集計行」をご紹介します。

集計行にチェックを入れると、選択した範囲の一番下に集計用の行が追加されます。(図④)

この行には何もせずとも予めプルダウンメニューが設定されており、簡単に各列ごとの平均値や合計値、最大数などの集計表示ができちゃいます。

すでにご存知のかたも大勢いらっしゃるかもしれません、まだこの機能を活用したことがない方は是非お試しくださいませ~。 (シロ)



お伺いした会社	山下石油株式会社
お話を伺つた方	代表取締役 山下 真司 様
会社の所在地	〒622-0002 京都府南丹市園部町美園町 7-14-5
電話番号	TEL 0771-62-0322
事業内容	ガソリンスタンド・車販売・車検整備・板金塗装
ホームページ	http://www.yamashita-web.net/

今回は京都府南丹市園部町の山下石油さんを訪ねました。山下社長はガソリンスタンドの3代目経営者です。先代社長の時、石油の元売り会社と折り合いがつかずガソリンスタンドとしてかなり厳しい状況になりました。その時、店頭にバイクを並べて売つたらひと月に10台くらい売れました。スタンドの経験がなかった山下社長は、これなら車でも売れるのではないかと、ガソリンスタンドで車の販売をはじめました。23歳の時だったそうです。

当時、ガソリンスタンドで車を売っているところはなく、大変不安だったそうですが、徐々に売れました。車が売れるのなら車検もやれるようにしようと、車検ができる整備工場の資格を取得して車検をはじめました。当時、2泊3日程度かかるのが一般的だった車検を日帰りで、しかも他社の半額程度でやつたものだからこれが大当たり。しかし、京都市内の陸運局まで3時間もかかる。車検できる台数に限りがあるということで、自社で検査ができるように指定工場の資格を取ろうと思い、隣の生命保険会社のビルを買って指定工場にしました。さらに、板金経験者が入社してきたので、板金工場も作ろうかと隣の病院を買って板金工場をスタートさせました。車検も車販売も軌道に乗り、車販売の直営店を出すほどになりました。

そこで山下社長は考えた。「いま、うちは車販売や車検がうまくいっている、しかしもともとのガソリン販売は苦しい。ガソリン販売に苦しんでいるガソリンスタンドは少なくないはず。ならば、それらのガソリンスタンドに車販売のノウハウを教えてあげて、ガソリンに頼らない経営ができるように支援してみよう」と。山下社長34歳の時でした。

楽しく楽に車に乗ってもらおう、楽しく楽に車を販売しようということで【車楽】というブランド立ち上げて全国のガソリンスタンドに呼び掛けました。そしてフランチャイズ的に【車楽】を広げていきました。あれから15年、今や全国に97店舗まで増えました。それらの店舗で使うのぼりやPOPなどの販促用具を販売するために(株)山商という会社を立ち上げ、それら販促用具の販売管理に『ほんぱい』を導入して下さいました。「山商は一人社長・一人営業の会社。だから『ほんぱい』が最強のパートナー。大変重宝しています」とおっしゃって下さいました。

近年は、大手のガソリンスタンドが車販売を手掛けるようになってきました。テレビコマーシャルでもガソリンスタンドでの車販売は良く見かけるようになりました。名の通ったガソリンスタンドとは対等に勝負できないと、今度はキッチンカーで唐揚げの販売に触手を伸ばしました。キッチンカーを作った工場がコロナで売れなくて困っていると聞き、それならば自分のところでキッチンカーを活用してみようと唐揚げ販売を手掛けたところ手応えがありました。小型のキッチンカーはどこにでも出店できます。駅前の一等地でも唐揚げ販売ができるということで、今はキッチンカーでの唐揚げ販売に精を出しておられます。

誰もやらないことをやり、チャレンジできることはやってみる。不屈のベンチャー精神で頑張っておられる山下社長に大いなる刺激を受けながら、更なる発展を祈念して帰路につきました。

山下社長



山下石油と車楽のHPから
<http://shinsyarakunori-syaraku.net/>

(米田)



いっちょかみ

“一丁噛”が行く！ 第168回：ある日突然

先日、いつも使っているマウスが突然使えなくなりました。マウスカーソルがまったく動かないのです。ノートパソコンなのですが、タッチパッドは正常に使えます。しかし普段マウスを使っている私としては、タッチパッドはとても使いにくく、マウスが使えないことには仕事になりません。電池を替えてみても、ウンともスンとも動かない

このマウス、Bluetooth(ブルートゥース)でパソコンとつながっているのですが、Windowsの設定(Bluetoothとその他デバイス)を開いてみるとマウスは表示されるのですがペアリング済みと表示されません。あれやこれややってみるもののうまくいかず、一旦、デバイスの削除をしましたのですが、今度はマウスを認識してくれません。Windowsを再起動したり、いろいろとやるのですがうまくいかず、時間ばかりが経過してイライラしてきました。

皆さん、こんな経験はありませんか。マウスということだけじゃなくて、今まで出来ていたことが突然出来なくなったりとか、見たことがない画面が突然出てきたりとか……。いつもと同じことをしているのに何故か出来なくなる。原因はいろいろあるのでしょうか右往左往してしまいます。

パソコンというのは、時々なんか訳が分からぬことが起こるものだと腹をくくり、なだめたり、すかしたりしながら付き合っていかなければならないようですね。心安らかなる日々を過ごすためには、“さとり”が必要なのかも知れません。

ちなみに、件のマウス。マウスにペアリングスイッチがついていて、それを長押ししないといけなかつたみたいです。れれれ…… (一丁噛)

編集後記 今年は新型コロナウイルスも収束するかと期待していたのですが、第8波が到来し、なかなか収束しそうにありませんね。一方で感染症法上の分類を季節性インフルエンザと同じ5類にしてはどうかという議論も始まっています。なにが正解かわかりませんが、社会経済を回しながらうまく共存していくことを各自が考えていかなければならないのでしょうね。